

行政視察報告書

平成31年1月29日

会派名 江南クラブ

会派代表者 福田 三千男

(参加者：福田三千男、宮地友治、古池勝英、牧野圭佑、伊神克寿、稲山明敏、安部政徳、東猴史紘)
行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	平成31年1月22日(火)
視察時間	午後2時～午後3時30分
視察先	東京都多摩市
視察項目	公立中学校での英語教育について

②

年月日	平成31年1月23日(水)
視察時間	午前10時00分～午前11時30分
視察先	東京都町田市
視察項目	農商工連携事業(まちだシルクメロン)について

研修参加報告書

①

年月日	平成31年1月22日(火)
研修時間	午後2時～午後3時30分
研修場所	東京都多摩市
研修内容	公立中学校での英語教育について
<p>■内容・所感</p> <p>教育委員会は「日本一英語を話せる児童・生徒の育成」をスローガンに掲げ、多摩市市立学校の英語教育の充実のために取り組んでいる。</p> <p>施策は以下の3つである。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Online Speaking Training (OST) の実施 予算額 350 万円/年・ GTEC (Global Test of English Communication) の実施 予算額 460 万円/年・ Teaching Skill UP Training の実施 予算額 400 万円/年 <p>市内にあるベネッセコーポレーションと連携して、生徒1人対外国人講師1人でオンライン英会話授業を実施し、例えば第2学年生徒は年間2回、第3学年生徒は年間1回実施している。実施に必要な iPad やヘッドセットは平成30年8月～9月に整備された。</p> <p>また、4技能「聞く・読む・話す・書く」のスコア型検定を年1回各学校で実施しており、その際、民間英語検定の1つである GTEC を活用している。全校一斉実施ではなく、例えば多摩中学校では7/5に、青陵中学校では7/14に実施するなど日にちは各校ずらして実施されている。</p> <p>そして英語教員のみならず市内すべての中学教員は英検準一級、TOEFL iBT80点程度を取得させることを「多摩市立学校における外国語（英語）教育推進施策」に盛り込み、そして教員の英語に関する苦手意識の払拭と教員の指導力の向上を目的として Teaching Skill UP Training をベネッセコーポレーションと連携し実施し始めた。授業は全て英語で行われる。</p> <p>以上の施策により、例えばオンライン英会話では生徒1人対講師1人のマンツーマンにより、自分の英語が通じたという経験が生徒の学習意欲をアップしたという。また、教員へ提供されているプログラムも教員同士のチームワークで授業を進める形のため、英語に対する不安も払拭する効果が出ているという。</p> <p>江南市はALTのみによる英語教育を展開しているが、ALTの最大の弱点は講師1対生徒40人ということである。英語は1対1のマンツーマンがより学習効果が上がる。昨今ではオンライン英会話が月5000円程度で提供されている。学校でオンライン英会話を年1回程度でも体験させれば、自宅でオンライン英会話に取り組む生徒も増えていくのではないか。</p>	

行政視察報告書

②

年月日	平成31年1月23日(水)
視察時間	午前10時00分～午前11時30分
視察先	東京都町田市
視察項目	農商工連携事業(まちだシルクメロン)について
■内容・所感 <p>町田市は2009年、商工会議所が市内・市外の10企業と連携し、「まちだシルクメロン」の水耕栽培をスタートさせた。「多収穫・低コストで高品質のメロンをつくる」を合言葉に地域の中小企業が今後を生き残っていくための新分野のビジネスを開拓していくという狙いがあった。</p> <p>「町田式新農法」と呼ばれる技術は通常であれば1株から1～4個のメロンしか収穫できないが、同農法では約60個を实らせることができるという。当然、実った全てのメロンが甘くて美味しい訳ではなく、通常のメロンとしては出荷できないレベルにあるものは、スイーツや飴にして加工品として市内やネットで販売しているという。</p> <p>残念ながら利益はトントン以下だという。担当者曰く、「市民でまちだシルクメロンを食べている人はまずいないのではないか」という発言もあった。同席していた市内中学生も「食べたことがない」と発言していた。等級と値段は以下の通りである。</p> <p>ブロンズ：糖度12度以上、重量1.1kg以上 4320円(税込) ゴールド：糖度14度以上、重量1.1kg以上 8640円(税込) プラチナ：糖度14度以上、重量1.3kg以上 21600円(税込)</p> <p>参加議員より、江南市の新ごみ処理場の熱を使ってメロンのような栽培をすると採算は合うかと質問があり、担当者は「間接的に町田市もまちだシルクメロンをバックアップ(資金的に)していますが、採算があってはいません。」という旨の発言がなされた。</p> <p>江南市はカットフルーツの企業が誘致されたので、新ごみ処理場の熱を使って栽培したものを同社に提供し商品化という流れが想定されるが、町田市の担当者が「色々なことにチャレンジして、町田市頑張ってるねと市民が思って頂ければ良い」と発言されていたが、江南市も何もチャレンジしなくては変わらないので、メロンではなくても他のフルーツ等でチャレンジしてみてもどうかと考える。</p>	